



佐 潟 通 信

2009年6月

38号

—春のようす—

◆春の佐潟 2009年4月～5月

野鳥の初認日

- 4月 12日 ノビタキ
- 14日 ゴイサギ
- 14日 コムクドリ
- 15日 イソシギ
- 25日 オオヨシキリ

- 5月 05日 コアジサシ
- 09日 アマサギ
- 15日 アマツバメ
- 19日 ハジロクロハラアジサシ
- 20日 ヨシゴイ

4月、満々と水を湛えた佐潟の湖面にさわやかな風が通り過ぎていきます。ジョウビタキがいなくなるとノビタキが春を連れて佐潟にやって来ます。下旬にはオオヨシキリが「ぎょぎょ、レー」と歌い出し始めました。



オオヨシキリ



ノアザミ



アマツバメ



ハジロクロハラアジサシ

久しぶりにハジロクロハラアジサシが立ち寄りしました。ヒシの葉が湖面にたくさん出ています。今年も繁茂しそうです。



ヒシ



オドリコソウ

◆佐潟桜まつりと中原邸公開 2009年4月12日

佐潟の桜が満開となった4月12日に、赤塚地域の各団体が協力してイベントを開催しました。佐潟の地元、赤塚はかつて北国街道で栄えた在郷町で、明治天皇が北陸巡行の際に昼食をとった中原邸があります。昨年地域の有志が赤塚・中原邸保存会を立ち上げ、当主と共に中原邸を手作業で整備し一部公開することになりました。この「佐潟桜まつりと中原邸公開」という初のイベントには、想像を超える大勢のみなさんにお出いただきました。

赤塚商工会は甘酒などの振る舞い、夜には、ぼんぼりでライトアップ。佐潟観光協会は人力車と舟巡り。佐潟水鳥・湿地センターでは地域の歴史展を開催、全体の案内も協力しました。

普段人通りの少ない赤塚地内の道に案内の高札が立ち1,000人を超える人通りで活気溢れました。佐潟公園の駐車場は終日満車、佐潟水鳥・湿地

センターの来館者数は1,858人を記録する盛況ぶりでした。佐潟と地域の財産を結んだこのイベントは新たな関係を創り出しました。



中原邸の公開

佐潟は桜が満開



赤塚と中原邸の歴史展



桜並木の脇の菜の花畑



「人力車」は大人気



のんびり「潟舟」は大忙し

	7時	8時	9時	10時	11時	12時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時		
佐 潟	ほんぼりふるまい 赤塚商工会															8時～11時	
	人力車 佐潟観光協会															11時～15時(佐潟観光協会)	
	舟めぐり 佐潟観光協会															11時～15時	
	赤塚と中原邸歴史展 佐潟オリジナルカレンダー・道室 佐潟水鳥・湿地センター 桜と精進探鳥会 佐潟野鳥倶楽部																10時～15時(道室)
	野鳥観察舎で写真展 佐潟水鳥同好会																10時～15時(観察舎)
ウ ン エ ー ル ア	お風呂「恵みの湯」 ウエルサンピア															10時～15時(お風呂)	
	運河ワゴン ウエルサンピア															10時～15時(運河)	
中 原 邸	中原邸公開 赤塚・中原邸保存会															10時～15時(公開)	
	中原邸・案内板(高札) 郷土研究会・中原邸保存会															10時～15時(案内板)	

当日の連携表

◆クリーン活動のようす

4月23日、佐潟のほとりにあります赤塚中学校の主催で「佐潟クリーン活動」が実施されました。当日は市内のNGO団体や地域の方々も協力参加し、総勢200人で行われました。学年ごとに分担して佐潟周辺に捨てられているごみ収集と県道沿いの花壇の手入れをしました。この活動は「地域に根ざした活動」の推進から同校が毎年行っており、佐潟の保全に大きく貢献しています。



芝生広場もごみ0に



チューリップの花壇も



5月5日、佐潟野鳥倶楽部の呼びかけでごみ拾い探鳥会が行われました。赤塚中学校のクリーン活動後ということもあり、ごみはほとんどありませんでした。赤塚中学校が範囲としていなかった上潟のわずかなごみを拾いながら43種の野鳥確認、そしてクリーンな佐潟が収穫となりました。

5月23日、地元団体が新潟市の関係各課と連携し不法投棄ごみの回収活動を行いました。佐潟を周遊する脇の斜面にありながら公園外（民有地）ということでヤブに覆われる状況の中、これまで結果的に不法投棄が看過されてきたもので、ビニールマルチなど総量7トンに及ぶごみが運び出されました。今後もごみだけではなく佐潟の環境問題に一步一步取り組んでいきたいものです。



↑佐潟の外側の斜面
25人が半日汗→



◆佐潟凧つくり凧上げ大会 2009年5月17日（日）午前



子どもたちの願いが書き込まれた2mの大凧は、湿地センターホールに展示されました。

白根大凧と歴史の館と凧名人の協力を得て佐潟水鳥・湿地センター主催で凧つくり凧上げ大会が行われました。親子30名の参加に地域の人、来訪者も加わり、小雨の天気も吹き飛ばすような賑わいのある湿地センター上空になりました。

◆「佐潟にトキが来たら、どうする？」ワークショップ 2009年5月17日（日）午後

第1部：報告および話題提供

「トキの野生復帰の意義と、放鳥後のトキの現状」
笹刈紘平さん（環境省佐渡自然保護官事務所レンジャー）
「トキの生息に適した環境づくり」
本間航介さん（新潟大学准教授・トキ野生復帰専門家）
「本土に飛来したトキのモニタリングについて」
本間隆平さん（新潟県野鳥愛護会・トキ調査協力員）
「トキが来たとき、関川村ではどうしたか」
田村健一さん（新潟県関川村教育委員会生涯教育課長）



第2部：自由討議「もし、佐潟にトキが来たら」

自治会長、漁協、小中学校長、野鳥の会、地元団体などの皆さんが参加

ラムサールセンターが主催「佐潟にトキが来たら、どうする？」と題したワークショップが湿地センターで開催され、約50人の参加がありました。第1部では、トキと関わっている方から話をいただき、第2部では佐潟に関わる住民の方々を交え、「現実的にはどうなのか」という意見も含めトキが飛来できるような佐潟の環境づくりや普及啓発の必要性が話し合われました。

佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】9：00～16：30（冬期間11月から2月の土・日は7：00から）

【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

編集 佐潟水鳥・湿地センター

〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1

電話 025(264)3050 / FAX 025(264)3051

E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp

発行 新潟市西区役所区民生活課

〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号

電話 025(264)7261

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にFAXかE-mailをください。

佐潟オリジナルカレンダーは好評をいただきました。ありがとうございました。

